

プロスポーツ観戦者の将来ファン行動に関する研究 —感情と満足度に注目して—

松井くるみ¹⁾ 原田宗彦²⁾

¹⁾早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

²⁾早稲田大学スポーツ科学学術院³⁾

キーワード:プロスポーツ観戦者, 将来ファン行動, 感情, 満足度

抄 録

本研究は Disconfirmation Paradigm の考えを基として, 特定の試合観戦中に生じる感情と満足に注目し, (1)プロスポーツ観戦者の将来ファン行動予測モデルを検証することと, (2)プロ野球観戦者およびプロサッカー観戦者を比較し, 共通点ならびにそれぞれのファンの特徴を明らかにすることを目的とする. プロ野球, および, プロサッカー観戦者を対象に, 期待不一致, 試合観戦中に生じた感情, 満足, 自尊心反応, 将来ファン行動の 5 つの変数について, 質問紙による調査を実施した. そして, 仮説モデルの検証を行い, プロ野球観戦者, プロサッカー観戦者のモデルの比較を行った. その結果, 仮説モデルの適合度は, $\chi^2/df = 2.672$, CFI = 0.783, RMSEA = 0.058 であった. 競技間でモデルを比較した結果, プロ野球観戦者, プロサッカー観戦者に共通して, 「楽しみ」「落ち着き」という感情が重要であることが分かった. 「落ち着き」という感情が将来ファン行動に影響を与えるとの先行研究はなく, 本研究の特徴的な結果と言える. それぞれの競技に特有の結果として, プロ野球観戦者は, BIRGing が将来ファン行動に最も影響を与えていることが示された. プロサッカー観戦者は, 満足度が将来ファン行動に最も影響を与えていることが明らかになった. 以上の結果より, 競技によって将来ファン行動に影響を与える感情に違いがあり, 異なるマーケティングの実施が必要であることが実証された.

スポーツ科学研究, 8, 12-34, 2011 年, 受付日:2010 年 11 月 5 日, 受理日:2011 年 1 月 22 日

連絡先: 松井くるみ 〒202-0021 東京都西東京市東伏見2-7-5

早稲田大学75-2体育教室303 E-mail:k.matsui@akane.waseda.jp